

大谷学会

◇春季公開講演会

五月二十七日(金) 午後一時～

於 講堂

親鸞の中動態的世界

―本願力回向と他利利他の深義―

本学教授 井上尚実

意志概念の批判から再考される行為、

責任、罪

東京大学大学院総合文化研究科教授

國分功一郎

真宗総合研究所

◇委員会

二月三日(木) 午後一時～

於 響流館会議室

・東京分室PD研究員の採用について

・真宗総合研究所規程の改正について

・国際仏教研究歎異抄WSに係る協定

の更新について

・その他

三月二十四日(木)～二十九日(火)

書面会議

・一般研究(予備研究)の採択基準の

改正について

・二〇二二年度「特定研究・指定研究」

の研究計画について

・二〇二二年度一般研究(予備研究)

の審査について

五月二十五日(水) 午後四時三十分～

於 博綜館第四会議室

・特別研究員の委嘱について

・二〇二二年度研究組織について

・研究所報「研究交流」について

・その他

真宗学会

◇「親鸞教学」第一一四号発行

(二月十五日)

〈目次〉

「獲得名号自然法爾御書」の考察―特に

「獲得名号」の因果を巡って―

山田恵文

「行信論」再考―信珠院順藝と曾我量深

を通して―

光川眞翔

真宗学とは何か―如来の呼びかけを聞

く学び―

一楽 真

実践真宗学の姿勢―ビハークラ活動と臨

床宗教師の実際―

鍋島直樹

言の仏教学―願生論(十九)―

安田理深

大乘仏教の歩み―親鸞の眼を通して―

龍樹②

木越 康

◇「親鸞教学」第一一五号発行

(三月十五日)

〈目次〉

隆寛律師「具三心義」読解(上)

―初段「総明三心義」を読む―

木越 康

浄土が(ある)ことをめぐって

―田辺元と竹内義範を手がかりに―

浦井 聡

仏性への論及の背景にある親鸞の複合

的意図

和田良世

「獲得名号自然法爾御書」の再検討

愚かさについて

山田恵文
四方田犬彦

言葉より生まれたる自己

—願生論(二十)—

安田理深

大乘の仏弟子—天親 親鸞と天親①

願生浄土—仏弟子として

加来雄之

◇新入会員歓迎講演会並びに総会

五月十七日(火)午後一時

於 慶聞館K二〇四教室

親鸞に学ぶ

本学准教授 藤原正寿

仏学會

◇卒業論文・修士論文梗概発表会

一月十四日(金)午後四時二十分

於 慶聞館K三〇三教室

発表会終了後に記念撮影を行った。なお、例年開催していた送別懇談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

◇研究発表例会

一月十八日(火)午後二時四十分

於 響流館マルチメディア演習室

世親の法滅観とその典拠

本学講師 上野牧生

毘沙門天変容の過程

本学教授 グシユシヨバラニ

哲学會

◇『哲學論集』第六十八号発行

(二月二十八日)

〈目次〉

生きとし生けるものが苦しみから自由

でありますように—シヨールベンハウ

アー哲学から見る「地獄」

鳥越寛生

レヴィナスのヨブ記解釈

根無一行

個人、生活戦略、共同性

齋藤雅哉

「ケアすること」を基軸にするコミュニティ

ティの形成にむけた一考察

大原ゆい

◇春季研究大会

三月九日(水)午後一時

オンラインシステム(zoom)を
活用して実施

現代日本の葬送儀礼に関する宗教社会

学的研究

—僧侶介在の意味に注目して

本学大学院博士後期課程第三学年

磯部美紀

◇二〇二二年度総会及び

『哲學論集』第六十八号合評会

六月一日(水)午後四時三十分

オンラインシステム(zoom)を
活用して実施

論文合評

「ケアすること」を基軸にするコミュニティ

ティの形成にむけた一考察

大原ゆい

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会一月例会

一月二十九日(土)午後二時

於 慶聞館K二〇一教室

東西本願寺正嫡論争の一考察

川端泰幸

◇大谷大学日本史の会三月例会

三月二十六日(土)午後二時

於 慶聞館K二〇一教室

五月一日経の勘経について

宮崎健司

◇大谷大学日本史の会六月例会

六月十一日(土)午後二時

於 慶開館K201教室

修士論文構想報告

井上 誓
儀賀太希

文 藝 学 会

◇『文藝論叢』第九十八号発行

(三月A5判六十六頁)

〈目次〉

平安期歌学における古語注釈と和歌起

源説―歌語「あしひき」の起源説を

端緒に― 鎌田智恵

『扶桑略記』の他国観―隋、唐、宋の記

事を中心として― 佐藤愛弓

《公開講演会・筆録》

日本近世における中国文論の受容―詩

話を中心に― 和田英信

国 語 教 育 学 会

◇卒業論文発表会(ポスターセッション)

一月二十一日(金)午後二時四十分

於 四号館四一〇二教室

話すこと・聞くことの指導法―「あつ

たらしいなこんなもの」を手がかり

にして― 石田 匠

より良い感想文を書くための授業―

「二つの花」の実践を手がかりに―

岡本 慧

指導と評価の一体化を目指す授業―

「かん字のはなし」の実践を手がかり

にして― 中村 侑

「やまなし」の指導法―教育実習での実

践を基に― 新部愛莉

説明的文章の指導法―「くちばし」の

実践を中心に― 松本咲千花

物語教材の指導法―「スイミー」の実

践を手がかりにして― 村中洸太

物語教材における音読の指導法―「や

くそく」を中心として― 山元晶絵

◇『大谷大学国語教育研究』第九号発行

(二月二十五日)

〈目次〉

第一部 研究論文

立松和平「海の命」読解試論―「川のい

のち」を補助線として、学習者の疑

問を解決する― 内田 剛

他者性を意識した「話すこと・聞くこ

と」の指導―国語科と特別活動の学

習を中心に― 高橋由衣

第二部 二〇二一年度

卒業論文発表会・卒業論文

二〇二一年度卒業論文発表会(ポスタ

ーセッション) 報告

二〇二一年度卒業論文七編(題目・氏

名は前記の「卒業論文発表会」参照)

初 等 教 育 学 会

◇『大谷大学初等教育学会研究紀要』

第四号発行(三月一日)

〈目次〉

「共通教材」の指導について

市川郁子

特別支援学校の教育課程と各教科等を

合わせた指導に関する一考察―作業
学習指導案の分析から― 井上和久

大久保圭子

四年間の初等科教育法（理科）の取り
組みの成果と課題 谷 哲弥

発達障害等支援が必要な子どもを育て
る保護者への支援の在り方に関する
一考察―保護者の思いと支援者の関
わりから― 大久保圭子

井上和久

保育現場体験が保育実習・教育実習へ
の不安と期待に与える影響

上續宏道

安田誠人

中 典子

小宅理沙

渡邊大介

西村美紀

富岡量秀

川北典子

乳幼児教育学会

会則

◇『大谷大学乳幼児教育学会研究紀要』

第二号発行（三月十八日）

〈目次〉

保育の振り返りに向けたICT機器活
用の検討―保育の質の向上への影響
について― 近江 望

児童虐待とネグレクトの本質に迫る

―時代が見つめる「児童虐待とネグ
レクト」から児童虐待防止について
の一考察― 木塚勝豊

保育現場体験が保育実習・教育実習へ
の不安と期待に与える影響

上續宏道

安田誠人

中 典子

小宅理沙

渡邊大介

西村美紀

富岡量秀

川北典子